

氏名

なかみち あつこ
中道 敦子

所属	口腔保健学科 多職種連携推進ユニット		
職名	教授		
最終学歴	徳島大学大学院口腔科学教育部	学位	博士（歯学）

専 門 分 野		
教 育 実 績	担当講座名称	単位数 講義時間数 実習時間数 学科・院の別
	口腔保健学概論	1 単位 18.0 時間 時間 学科
	歯科保健指導論 I	2 単位 30.0 時間 時間 学科
	歯科保健指導論 II	2 単位 30.0 時間 時間 学科
	社会連携キャリアデザイン I～IV	各 1 単位 各30.0 時間 時間 学科
	地域歯科衛生活動演習	4 単位 時間 60.0 時間 院（修）
大学運営における主な役職履歴（過去5年間）		多職種連携推進ユニット長，口腔保健学科教務部会長・副部長
研 究 分 野		
研究課題	課題名	<p>1. 「サルコペニア肥満における体組成バランス破綻に対するうま味感受性関与の多元的解明」 *2022年度科学研究費助成金：基盤研究（C）22K11705, 2022-</p> <p>2. 「フレイルの悪循環サイクルにおける筋肉量減少とうま味感受性障害についての基礎的研究」 *2019年度科学研究費助成金：基盤研究（C）19K11647, 2019-2022.</p> <p>3. 「介護従事者のヒューマンファクター解明による安全な食事介助技術の開発」 *2012年度科学研究費助成金：基盤研究（C）24500647, 2012-2015.</p>
	キーワード（5つまで）	咀嚼，体組成，うま味，サルコペニア肥満，口腔機能
	共同研究等の実績	1. 平成26年度科学研究費助成金：基盤研究（C）「入院加療に起因するオーラル・フレイルの包括的スクリーニング指標の開発と基礎的研究」. 星野由美（研究代表），中道敦子（研究分担）. 2. 市川哲雄，中道敦子ほか. フレイル、オーラル・フレイルおよび食行動に関する横断的・縦断的研究. 平成28年度8020研究事業報告書：99-108.
研究業績 （著書・発表論文等） （最新の5編）	1. Eunahara M, Soutome S, Sakamoto Y, Oyama H, Otsuru M, Umeda M, Saito T, Nakamichi A. Relationship between tongue pressure and salivary bacteria in the older adults requiring long-term care. Gerontology, 2022.	
	2. Eunahara M, Soutome S, Otsuru M, Sakamoto Y, Honda H, Ikegami Y, Natsume N, Umeda M, Nakamichi A. Dental needs in palliative care and problems in dental hygienist education: survey study of palliative care ward homepage, university syllabus, and academic conference abstracts. BMC Palliat Care, 21(1): 137, 2022.	
	3. 中道敦子, 寺下正道, 山口紫乃, 永松 隆：問題志向型システムに基づく歯科医療記録の提案 第2報 問題志向型歯科衛生業務記録, 九州歯科学会誌, 76 (3, 4), 2023. 1.	
	4. 寺下正道, 中道敦子, 永松浩山口紫乃：問題志向型システムに基づく歯科医療記録の提案, 九州歯科学会誌, 75 (3, 4), 31-38, 2022.	
	5. 中道敦子：いつもの一口量を減らして食べると自然に咀嚼回数が多くなり「良く噛む」ことができます：咀嚼の本3, 口腔保健協会, 第6章咀嚼と食育Q4A, 81, 2022.	
産学官連携実績 （主要3件）	なし	
産学官連携 可能・希望分野	なし	
取得した実用新案特許等 （主要5件）	なし	
所 属 学 会 （主要5件）	日本咀嚼学会, 日本歯科衛生教育学会, 日本歯科衛生学会, 日本栄養改善学会, 九州歯科医学会	